

大学院奨学生には、第一種奨学生と第二種奨学生とがある。いずれも入学試験の合否判定の際に選考を行い、本人に通知することになっている。第一種奨学生は、各年次の授業料及び整備拡充費の2分1に相当する額を減免することによって支給している。第二種奨学生は、入学時における入学金の全額を免除することによって支給している。

2 生活相談等

(1) 学生の心身の健康保持・増進及び安全・衛生への配慮の適切性

現状の説明

学部学生と同様に健康診断等を行い、健康管理に対し配慮している。

3 就職指導等

(1) 学生の進路選択に関わる指導の適切性

現状の説明

システムエンジニアや会計分野を目指す学生については進路選択が充実しているが、分野によっては就職が厳しい状況にある。

点検・評価 長所と問題点 将来の改善・改革に向けた方策

大学院に対しては、学部のような就職課によるきめ細かな就職指導は実施されておらず、今後大学院学生に対する進路選択に関わる指導体制を検討していきたい。

X 管理運営

【大学・学部の管理運営体制】

1 教授会

(1) 教授会の権限、殊に教育課程や教員人事等において教授会が果たしている役割とその活動の適切性

現状の説明

東京情報大学学則第36条において「本学の学部に教授会を置く。」と定めており、第36条第2項第2号で「教員の候補者の選考等人事に関する事項」を審議すると規定している。また、東京情報大学教授会規程第3条第1項第2号にも同様の記載がある。